

【8月6日】

- 0 : 3 7 気象観測機3機が同時に離陸。  
ストレート・フラッシュ（広島）  
ジャビット3世（小倉）  
フル・ハウス（長崎）
- 0 : 5 1 トップ・シークレット離陸（攻撃機の故障に備え硫黄島で待機）
- 1 : 4 5 エノラ・ゲイ離陸
- 1 : 4 7 グレート・アーティスト（科学観測装置装備）離陸
- 1 : 4 9 91番機（写真装置装備）離陸
- 1 : 5 5 高度4700フィート（1432m）、時速213マイル（343km）
- 2 : 0 0 最終起爆装置取り付けに着手
- 2 : 1 0 高度4700フィート（1432m）、時速223マイル（357km）
- 2 : 1 5 起爆装置取り付け完了
- 2 : 3 2 離陸後約45分、硫黄島から494マイル（795km）と推定  
高度4600フィート（1402m）、時速219マイル（352km）
- 3 : 0 2 高度4700フィート（1432m）、時速222マイル（357km）
- 3 : 5 9 高度4600フィート（1402m）、時速217マイル（349km）
- 4 : 3 9 1000フィート（305m）上昇し、高度5500フィート（1676m）  
15分間に、3800フィート（1158m）上昇  
9300フィート（2834m）で、僚機とのランデブー飛行
- 4 : 5 7 硫黄島上空、3機の飛行機同士の交信を打ち切る
- 5 : 0 5 硫黄島上空よりV編隊で広島へ向かう
- 5 : 0 7 高度9200フィート（2804m）、時速203マイル（327km）
- 5 : 2 9 高度9300フィート（2834m）、時速205マイル（330km）
- 6 : 3 0 赤プラグを挿入（投下すれば爆発する状態にセット）し、  
飛行機の電気系統から爆弾の内蔵電池へ切り替える
- 6 : 4 0 高度9200フィート（2804m）、時速205マイル（330km）
- 6 : 4 1 高度上昇開始
- 7 : 0 9 イーザリー機長の気象観測機、広島市上空の気象調査を開始  
中国軍管区司令部が警戒警報発令
- 7 : 2 5 広島からの気象報告を受ける（第1・第3目標上空は良好、第2は不良）
- 7 : 3 0 高度2万9000フィート（8700m）、時速194マイル（312km）
- 7 : 3 1 軍管区司令部、警戒警報を解除
- 7 : 3 8 高度3万2700フィート（9967m）で水平飛行に移る
- 7 : 4 0 高度3万700フィート（9357m）、時速197マイル（317km）
- 7 : 4 7 電子信管テスト、結果良好
- 7 : 5 0 四国先端の上空を通過。グレート・アーティストが速度を落として1000  
ヤード（914m）後方に位置をとり、やや遅れて飛行していた91番機は3

- 60度旋回して他の2機を先にやる
- 8:04 進路西
- 8:09 目標広島視界に入る
- 8:12 IP (イニシャル・ポイント=原爆投下作業開始地点) に到着  
爆撃目標の15、5マイル (25 km) 前
- 8:15 高度3万1600フィート (9632 m)  
時速200マイル (322 km)
- 8:15 爆撃手のフィリビー少佐、照準点 (相生橋) を確認、自動装置を作動させる
- 8:15:17  
リトル・ボーイ投下。落下地点は約3.5マイル (5633 m) 前方、4トン  
軽くなったエノラ・ゲイは、空中でジャンプした。グレート・アーティストは  
リトル・ボーイが爆弾倉をはなれた瞬間の停止した無線音をとらえると爆弾倉  
を開き、3個の計器類を投下。計器についていたパラシュートはほどなく開い  
た。そのままの針路では爆発地点上空を飛ぶため、エノラ・ゲイは右 (158°  
山陰上空へ)、グレート・アーティストは左に機を旋回。急降下で機を加速さ  
せて投下地点をはなれる。最初横向きに落ちていったリトル・ボーイは、尾部  
のひれが希薄な空気をとらえると、頭を下にして落ちていった
- 8:16 爆発 (広島市は8時15分を投下時刻とするのみ)
- 9:41 高度2万5000フィート (7620 m)  
広島から363マイル (584 km)、時速206マイル (332 km)
- 13:58 テニアン着